

ONCC 12期 江戸時代にタイムスリップ

テーマ 落語会鑑賞

2024年10月10日

天満天神繁昌亭昼席

(担当1班)

もう10月なのに秋の気配が感じられずに、まだまだ暑さが残っているこの頃ですが、芸術の秋に相応しい落語鑑賞です。その前に天六界限で美味しいお寿司屋さんで、食欲の秋を満喫しました。この天六界限は、そして天神橋筋商店街は、本日のトップ演者の「桂りょうば」さんが大好きな町でもあります。そして商店街のお店に目をやり活気を感じながらひたすら南へと歩き続けて、南森町へたどり着きました。天満天神繁昌亭が開演前に隣の大阪天満宮に参拝しました。この年で学業成就もなく、健康と交通安全を祈願しました。



春駒寿司



大阪天満宮

やっと開場となり繁昌亭へと入りました。建物は思っていたよりはコンパクトな感じでしたが、演者との一体感が得られてこれでよいと思われました。

いよいよ落語鑑賞の開始です。



繁昌亭入場風景



繁昌亭内部入口付近



繁昌亭舞台（閉幕中）

最初に「桂りょうば」から始まり、以後は林家菊丸、桂三河、浮世亭とんぼ・横山まさみ、笑福亭瓶吾、笑福亭岐代松、笑福亭笑丸、桂わかば、荒木巴、笑福亭仁智、の10人です。

御本人たちが語ってくれたエピソードとちょっと調べてみたことを簡単にまとめました。

- ・桂りょうば→若手とおもいきや転職組でした。そして枝雀さん（故人）のご子息。入門はごこば師匠にしましたから、父の弟弟子に入門です。若さがあって歯切れよかったですね。
- ・林家菊丸→三重県出身で、四日市観光大使、亀山文化大使、三重大学特任教授もあり結構インテリジェンスも匂わせますね。
- ・桂三河→三枝師匠から実名と芸名の両方を頂いてなづけられた。喜んでいましたね。
- ・漫才コンビ(浮世亭とんぼ・横山まさみ) →ベテランの味がありました。横山まさみは土下座

の仕方などが師匠の横山ひろしによく似ていました。

- ・笑福亭瓶吾→今を時めく鶴瓶さんの弟子。
- ・笑福亭岐代松→力の入った熱量を感じさせる語り。不倫物語も笑いで昇華。
- ・林家笑丸→話芸もさることながらパフォーマーとしても一流。マイケルジャクソンを彷彿させるバックウォークは努力のたまもの。オリジナリティに富んでいました。
- ・桂わかば→ざこば師匠の弟子。カラオケでの師匠への気遣い対応の話が愉快でした。
- ・マジック荒木巴→短時間で簡易なマジック。かわいさがあり、トリックよりこれが売り？
- ・笑福亭仁智→さすがの話芸、現代の時事、世相を踏まえた引き出しの多さを感じました。仁鶴さんの一番弟子。貫禄も出てきました。

今日の落語を見て感じたのは、落語も変わらない伝統を継続しながらも現代風なアレンジもいろいろと出てきているなど、そしてそれが結構たのしめるものだと感じました。

落語は娯楽・語楽。文枝師匠の創作落語も一度聞いてみたいと思いました。



繁昌亭内部展示物



繁昌亭内部名札等



繁昌亭入場者 200 万人

最後に繁昌亭の前で記念写真を撮りました。

皆さん笑いで活性化されてイキイキとした笑顔！



記念写真①（仁智師匠と）



記念写真②（集合写真）



二人師匠



人力車



繁昌亭遠景



繁昌亭正面